

宇検建第 107 号
平成20年10月1日

国土交通省
道路局長 殿

鹿児島県大島郡宇検村
村長 國馬 和範



「今後の道路行政についての意見・提案書」の提出について

上記について、別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

鹿児島県 宇検村

- ・奄美大島の道路整備については、奄美振興開発事業に基づいて計画的に施行されているが、改良時にできた廃道敷きに地域環境に配慮した公園化を道事業でできないか。
- ・地球規模の温暖化の影響かは不明ですが、潮位が近年上がっているのではないかとと思われる。これに伴って計画高の変更が必要ではないか。
- ・大島本島でも宇検村は南部地域に位置し、北部より道路整備が遅れている感がある。大島本島一体となつての地域興しにも今後の道路整備事業費を南部地域に重点的に投資してもらいたい。
- ・大都会と一緒に整備基準ではなく、各地域にあった整備基準を作ってもらいたい。
- ・道路整備のネックとなっているのが、地権者の特定ができず登記ができないため事業が遅れざるを得ない。現在農政サイドの予算で事業を行っており、土木サイドでの予算でできないものか。また不在地主等の対策で特区的な措置はとれないか。

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②－１ 地域の現状と抱える課題

鹿児島県 宇検村

宇検村は町村合併をせず単独の道を選択し、村民が安心して安全に暮らせる村づくりや村民の所得向上に向けて、あらゆる施策を模索し導入しているところであります。

昨年３月に、長年途絶えていたチップ工場が稼働し、又都会との交流事業の一環でありますチビッ子体験交流事業、宇検村まるごとオーナー制度、スポーツ合宿、特に近年マグロの養殖が盛んになり、南部大島だけで年間３０００トンの黒マグロの出荷があり、これの餌の搬入や施設の増設により大型トレーラーの通行の頻度が極端に多くなっています。しかしながら村内の道路は依然として幅員が狭く急カーブが多く、車両の大型化により通行に支障をきたしている。また台風等の自然災害により交通途絶になる箇所もあります、このため村民より安心、安全な道作りの強い要望がでている。

今後の道路行政についての意見・提案

様式③

②ー２ 地域の目指すべき将来像

鹿児島県 宇検村

- ・宇検村は村の経済浮揚と村民の幸せと所得向上のため企業の誘致、都会、地域間交流事業を積極的に推進し、域内人口の増と消費の拡大、観光資源の発掘等を積極的に推し進めるため、村内道路の有効活用、整備を進める。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

鹿児島県 宇検村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上 ・総合的な交通安全及び危機管理の強化	・平成19年度より都会との交流事業（ちびっ子体験交流事業イン宇検）、平成20年度よりチップ工場の操業により幹線道路、搬出道路の利用拡大。 ・毎年地域代表、警察、消防、自治体連携で道路防災点検の実施。平成20・21年で防災無線の強化をし又、平成20年度より携帯電話会社との連携により宇検村地区での災害情報の伝達の実施	・村経済への寄与、宇検村の都会での知名度アップ等。 ・村民への地域での災害情報の伝達、避難場所経路の周知、村内での停電時の災害情報の伝達の迅速性。	